

	平成 24 年度 第 5 回 NPO 法人介護支援専門員協会鹿児島 理事会
日 時	平成 25 年 2 月 25 日 (月) 17:00～
場 所	介護相談センター 真砂本町
出席者	会 長：大勝洋祐 副 会 長：木場秀逸、宇治野由美子 理 事：佐藤三奈、新地一浩、小湊珠子、高野大輔
欠席者	常務理事：阿久根平 理 事：原田卓也、吉永とも子 監 事：福永良弘
	<p>1. 会長挨拶</p> <p style="text-align: right;">(大勝洋祐 会長)</p> <p>皆さんもご承知の通り、民主党は前回支持された政策ができずに追い詰められ、倒れた形になった。しかし、国民は政策を選択したというよりとにかく信用できそうな政党を選ぼうということで昔から歴史のある自民党を選んだ形になりました。その様ななかでも介護保険という良い制度ができていますので今後のわれわれとしては、いい方策を考え、お互いに協力し合い、レベルを上げながら国民の期待に応えられるような存在になりたいと思います。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 高齢者虐待防止ネットワーク協議会実務者会議(1/15)について (新地一浩 理事)</p> <p>日 時：1 月 15 日 10:30～11:45 場 所：鹿児島市役所 本館講堂 内 容： 高齢者虐待対応に関する関係機関との連携について</p> <p>※どのような場合に通報の必要があるのか？また、市、地域包括支援センターや各関係機関との連携等について</p> <p>本人が虐待を受けている自覚は問わない、権利を侵害されている場合や疑わしい時点で地域包括へ通報を。養護者の保護視点をもつこと。 地域包括支援センター→CMへ対応を移行するのではなく主体的に関わる。 3 年経過した虐待マニュアルについて見直す点はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者に対する虐待について 高齢者虐待の全体 48%が認知症高齢者である。本市 34% 息子が虐待する 40.7%と最も多い。通報したことが表面化する怖さがある。 通報があってから 48 時間以内に訪問するように指導している。 健康調査や二次予防調査として訪問するなど工夫している。 認知症サポーター研修事業や認知症介護相談所 33 ヲ所を平成 23 年から実施月に 1 回月～金 10 時～15 時 ・精神障害者等による虐待について 病気だからと決めつけてできないと考えるのではなく、話を聞いてあげる、困りごとを吸い上げることが大切。病気が原因なのか見極めが重要。 市民福祉プラザ 3F 知的～精神障害相談の窓口があります。ご活用下さい。

2) 高齢者虐待防止ネットワーク協議会代表者会議(1/30)について

(新地一浩 理事)

日 時：1月15日 10:30～11:45

場 所：鹿児島市役所 本館講堂

内 容：高齢者虐待に関するDVD視聴

- ・虐待件数について事務局より報告あり
高齢者施設等での虐待はなし、3件通報あり立ち入り調査による職員への聞き取り実施。業務記録等を確認。虐待をされたであろう利用者の特定ができ無理矢理に座らされていた行為があった。記録等から止むを得ない状況が確認されたので認定はしなかった。
- ・平成24年度実務者会議について
認知症の人と家族の会より 他機関との連携の重要性 介護放棄の事例 3ヵ月に及ぶ20回の相談あり 入院中の夫に面会させてもらえない妻からの相談。
原因が明らかにならない、介護者の状態も確認できない中で全体像の把握が困難 地域包括新センターと情報の共有ができ円滑に相談支援できた。
- ・訪問看護ステーション連絡協議会
分離して保護した後、家族が市役所や地域包括支援センターに入所先を訪ねてくる。一律、明かさないう対応している。繰り返し訪ねてくるので対応に苦慮している。
- ・弁護士会
弁護士会と社会福祉士会に合同で専門職チーム立ち上げ準備中 3月までに目標 高齢者身体障害者九州では鹿児島だけ設置がない状況
- ・鹿児島市障害者機関相談支援センターの協議会への参加について
最近の動向として精神障害が利用者・養護者に関連する事柄が増加している、精神障害分野の有識者のメンバーを招集することで承認される。

3) 第2回施設委員会研修会(12/8)について

(木場秀逸 副会長代理報告)

日 時：平成24年12月8日 14:00～16:30

場 所：かごしま県民交流センター 3階 中研修室 第1

対 象 者：施設・グループホームなど従事者

研修内容：講演 「施設ケアマネに期待すること」

～介護支援専門員も資質向上と今後の在り方に関する検討会報告～

- ・施設サービス計画書と介護現場のケアとの関係の資料を元に講義
- ・施設ケアプランの考え方
- ・施設サービス計画と個別計画の関係について
- ・アセスメントの意味
- ・認知症の方のとりえ方

アンケート結果 35名参加 29名回収 83%

大変良かった、良かったが 77% 普通 6%

- ・施設ケアプランの考え方、現状そのものをどう変えていくか、考えさせられました。時間はかかるが常に発信していければと思います。
- ・改めて介護に向かう姿勢が学べ、また職員教育の難しさを痛感しました。
- ・施設ケアマネ研修は少ないので、研修を企画してほしい。
- ・有料老人ホームなどのケアプランについて研修をお願いしたい。

4) 第2回ゲートキーパー養成講座(1/12)について

(木場秀逸 副会長)

日 時：平成25年1月12日 14:00～16:00

場 所：鹿児島県民交流センター 3階 大研修室 第2

研修内容：「ゲートキーパー養成講座 パート2

～悩んでいる人にあなたができること～

講 師：児玉さら先生（臨床心理士）

アンケート結果 57名参加 45名回収 回答率 78.9%

大変良かった 27名 60% 良かった 17名 37% 普通1名 3%
あまり参考にならない等 0名

- ・自殺を考えている側の支援ができるといいなと思います。
- ・傾聴することの大切さを学びました。死について重い話ですがお互いに語ることは大切です。
- ・対処の方法を具体的に話してもらいとても良かった。
- ・1回目の研修を受けてから2回目の研修を受けた方がよかった。
- ・今後は精神疾患、人権問題、ターミナルの方の寄り添い方、虐待等の研修をお願いしたい。

5) 第3回居宅委員会研修会(2/1)について

(小湊珠子 理事)

日 時：平成25年2月1日 14:00～17:00

場 所：かごしま県民交流センター 3階 大研修室2

研修内容：「ケアプラン作成に関する研修会 ～書き方研修会～」

講 師：NPO法人介護支援専門員協会鹿児島 副会長 宇治野 由美子

- ・演習シート① 情報の整理 ICFの考え方を確認 シートへの落とし方
- ・演習シート② 生活の目標を達成するためにどのようなことが必要なのか ※グループワークと個人ワーク

アンケート結果 109名参加 72名回収 66%

大変良かった 52名 良かった 18名 普通0名 なし2名

- ・去年の研修以降情報を整理して書けるようになった。去年はICFの講義もあり、その後のケアプラン作成に活かされた。
- ・演習の中で記入方法の違いや考え方を学べて大変勉強になりました。
- ・事業所に帰って、すぐに検討会をします。
- ・経験年数だけ長くなり、新しい知識がなく改めて自分を見つめ直せた。

- ・ケアプラン書き方研修会は毎年2・3回して欲しい。

6) 第2回鹿児島市地域包括支援センター運営協議会

(新地一浩 理事)

日 時：平成25年2月22日 10:00～11:30
 場 所：鹿児島市役所みなと大通り別館4階 401号室
 内 容：地域包括ケアシステムの環境整備が進んだ点。
 昨年、東谷山・西伊敷の2事業所を新設致しました。

- ・報告事項
 愛称の募集について最終決定はまだである。二次選考までの3点を選考、今後は来月の中旬に三次選考を行う。3月下旬に看板改修、4月1日より愛称の使用を開始
- ・協議事項
 ①介護保険法改正～包括的支援事業の実施に係る方針を示して、当該包括支援事業を委託することができる。と変更された。
 ②地域ケア会議において平成25年度は、1医療と介護の連携を図る、2地域包括支援センター各事業所毎のテーマに沿って行う予定。
 ③介護支援専門員に対する支援・指導の実施方針
 居宅介護支援事業所のケアマネジャーを指し、地域ケア会議を通じて環境整備・課題抽出を行い、実践をサポートしていく。
 ④ケアマネジメント研究会について
 次年度も予定されているが参加メンバーの勉強会になっている。関係職種や市民の有益になるような還元がなされていない。テーマやビジョンがないのに実施してもまた繰り返しではないか。行政と地域包括でリーダーシップを取り盛り込んでいく。

3. 協議事項

1) 第3回主任介護支援専門員フォローアップ研修(3/1)について

(木場秀逸 副会長代理報告)

日 時：平成25年3月1日 14:00～16:00
 場 所：鹿児島県民交流センター
 研修内容：居宅介護支援事業所における研修計画の作成方法について

2) 平成25年度総会(5/25)講演会講師、各委員会の活動、役員改選等について

(木場秀逸 副会長)

日 時：平成25年5月25日 13:10～17:00
 場 所：鹿児島市民文化ホール 4階 市民ホール
 研修内容：社会資源の紹介として消費者センターの活動について、消費者トラブル・被害の実態等の講演
 ケアマネジャーの専門的知識として認知症疾患相談センターの役割等の講演
 その他（メルマガの紹介など）

3) ホームページ運営管理について

(新地一浩 理事)

- ・サーバー使用等の契約を他社に変更（ロリポップ）4,106/年
ホームページ作成料 60,000 円/初回のみ
- ・初回のみHP作成料が計上されますが次年度以降は4,100 円のみ支出となり、かなりの経費削減となります。さらに今回の方式で作成しますとインターネット使用できる環境があればどこからでも更新等の作業が可能。プロに依頼するため見栄え、内容についても充実化が図れることが期待できます。

4) 事務局運営について

※事務局の負担の軽減を図り、来年度からは研修会の会場確保や研修案内の作成や郵送・研修資料の作成等の業務においては各委員会の委員で行うこととする。

4. その他

1) 会員数 446 名、新入会員 5 名

2) 次回理事会日程(4 月 22 日予定)

以上をもって、協議が終了したので午後 6 時 00 分、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 25 年 4 月 22 日

議長 理事

大月秀洋 初



理

事

木島秀逸



理

事

宇野由美子

